
神戸町まち・ひと・しごと創生

第2期総合戦略

2024

令和6年3月改訂版

神戸町

目 次

1	神戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ・対象期間	1
(1)	神戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ	1
(2)	神戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象期間	1
(3)	神戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の政策目標と政策検証の枠組み	2
(4)	神戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進体制	2
2	第1期総合戦略の検証	3
(1)	数値目標の検証結果	3
(2)	重要業績評価指標（KPI）の達成状況	4
(3)	各基本目標の成果と課題	8
3	第2期総合戦略の基本的視点と基本目標	10
(1)	第1期総合戦略の推進状況を踏まえて	10
(2)	現状及び人口展望を踏まえて	10
(3)	基本目標	13
(4)	施策の体系	15
4	第2期総合戦略の数値目標と具体的な施策について	18
基本目標1	地域経済の活性化と魅力ある産業の創出	18
基本目標2	魅力を感じるまちづくりで、新たな人の流れを創出	20
基本目標3	結婚・出産・子育ての希望が叶うまちを実現	24
基本目標4	誰もが安心して暮らすことのできる持続可能なまちを創出	28
基本目標5	広域連携による個性ある地域を実現	31

1 神戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ・対象期間

(1) 神戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

神戸町（以下「本町」という。）では、平成27（2015）年に「神戸町まち・ひと・しごと創生 総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定しました。この戦略では、数値目標と重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）を設定し、戦略的な施策の展開を図ることで、人口減少と地域経済縮小を克服し、まち・ひと・しごと創生と好循環の確立を目指してきました。

この結果、本町では近年における社会減を抑制するなど、一定の効果がみられますが、完全な克服には至っておりません。そのため、人口減少時代における継続した施策の展開が必要とされています。

そこで第2期総合戦略では、第1期の6年間で進められてきた施策の検証を行うとともに、令和元（2019）年12月に制定された「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」（国の総合戦略）、平成31年（2019）年3月に制定された「清流の国ぎふ」創生総合戦略」（岐阜県版第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略）を勘案しつつ、本町の地域特性を踏まえた独自の政策目標を明示し、具体的な施策を位置づけるものであり、その戦略的な展開を継続して図ることで、人口減少と地域経済縮小を克服し、まち・ひと・しごと創生と好循環の確立を目指します。

(2) 神戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象期間

第2期総合戦略は、**令和3（2021）年度から令和6（2024）年度までの4年間を対象期間**とします。

また、総合戦略は、毎年進捗状況をモニタリングし、計画目標年に評価・検証を実施した上で、本町におけるまちづくりの最上位計画である総合計画との整合を図りながら見直すこととします。

※神戸町第5次総合計画の計画期間は令和6（2024）年度まで。

対象期間

令和3（2021）年度



令和6（2024）年度

(3) 神戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の政策目標と政策検証の枠組み

第2期総合戦略についても、第1期戦略における施策の継続的な展開を目的としていることから、アウトカム指標を原則として「数値目標」及び「重要業績評価指標（KPI）」を設定します。そして、改善するPDCAサイクルを確立するため進捗を検証し改善に努めます。

●数値目標

⇒ 基本目標ごとに設定する目標値。

●重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）

⇒ 施策・事業ごとに設定する目標値であり、直接的な効果をモニタリングするために設定。

(4) 神戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進体制

総合戦略は、以下の体制で事業の推進を図ります。

①神戸町まち・ひと・しごと創生本部による全庁的な取り組み

総合戦略の策定及びその推進に向けて全庁的に取り組むため、引き続き「神戸町まち・ひと・しごと創生本部（以下「創生本部」という。）」を中心として、人口減少・超高齢化という問題に従来の行政分野の枠組みを超えて取り組みます。

②神戸町地方創生総合戦略推進委員会による施策の評価と検証




庁内組織である創生本部における協議のほか、住民や産官学金労言（産：産業界、官：行政機関、学：教育機関、金：金融機関、労：労働団体、言：メディア）からなる「神戸町地方創生総合戦略推進委員会（以下「推進委員会」という。）」により、有識者の知見等を広く取り入れ、協力を得ながら施策を推進するとともに、評価・検証を実施します。

③国・岐阜県との連携



総合戦略の目標を確実に実現していくためには、「清流の国ぎふ」創生総合戦略（岐阜県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」）との連携を図りつつ、国が提供する地域経済分析システム（RESAS）や地方創生に関する人的支援、財政支援等の各種制度を積極的に活用し、効率的かつ効果的に事業を推進します。

2 第1期総合戦略の検証

(1) 数値目標の検証結果




第1期総合戦略に示した「基本目標」ごとに設定した数値目標の、令和元（2019）年度時点での達成度についての評価を行いました。「状況」は、策定時に対して実績値が「向上」（）、「低下」（）、「横ばい」（）を示しています。

【基本目標1】地域活力の源となる産業・雇用の創生

指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
①町内で働く従業員数	7,556人※H22	7,605人※H27	7,600人	
②町内就業率	37.8%※H22	39.7%※H27	40.0%	



※①②出典：国勢調査

【基本目標2】地域の魅力を活かした新たなひとの流れの創生

指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
①転入者数	607人※H26	700人	630人	
②転出者数	826人※H26	761人	800人	
③イベント入込客数（神戸山王祭り、GO!ご〜どんとこい祭り等の来客数）	55,000人※H25	60,000人※H30	60,000人	



※①②出典：岐阜県人口動態統計調査結果 ③岐阜県観光入込客統計調査による神戸山王まつり及びどんとこい祭りの来客数

【基本目標3】結婚・出産・子育ての希望に応えるまちの創生

指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
①合計特殊出生率	1.35	1.30※H30	1.60	
②子育て環境が満足と思う住民割合[アンケート調査]	83.4%	85.4%※R2	90.0%	



※①出典：西濃地域の公衆衛生統計（岐阜県） ②「神戸町のこれからのまちづくりに関するアンケート調査」（R2実施）

【基本目標4】みんなが主役の安心で温かい地域の創生

指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
①神戸町が住みやすいまちだと思う住民割合[アンケート調査]	84.3%	87.2%※R2	90.0%	
②今後も住み続けたと思う住民割合[アンケート調査]	59.0%	61.9%※R2	70.0%	

※①②「神戸町のこれからのまちづくりに関するアンケート調査」（R2実施）




【基本目標5】広域連携による圏域の新たな魅力の創生

指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
①西濃圏域における転入者数	12,000人	13,681人	13,000人	
②西濃圏域における観光客数	1,477万人	1,403万人	1,470万人	



※①②出典：西美濃創生広域連携協議会

(2) 重要業績評価指標 (KPI) の達成状況










第1期総合戦略では、事業ごとにKPIを設定しました。目標値の達成状況は以下のとおりです。

「状況」は、策定時に対して実績値が「向上」()、「低下」()、「横ばい」()、「判定不能」(—)を示しています。

◆基本目標1 地域活力の源となる産業・雇用の創生

施策・指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
神戸町の魅力発見事業	—	—	100	—
町内に本社のある地元企業への新規雇用数(人)				
就労奨励金制度の創設	—	3	20	
新規就労者数(人)				
観光農園補助制度の創設	—	36 (※H30)	40	
制度を活用し農園に来場した人数(人)				
新規企業の誘致推進	—	—	1	—
新規誘致企業数(累計社数)				
ベンチャー企業の誘致、支援	—	—	1	—
支援企業数(累計社数)				

◆基本目標2 地域の魅力を活かした新たなひとの流れの創生

施策・指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
定住化対策・神戸町空家バンク制度の確立事業	—	10	10	
空家の物件登録・利用申込件数(累計件数)				
住宅改修助成事業	4	51	50	
助成件数(件)				
定住促進奨励金事業	35	43	37	
取得支援件数(件)				
三世帯同居等支援事業	—	3	5	
助成件数(累計件数)				
移住者の通勤支援事業	—	1	5	
助成件数(件)				
養老鉄道を活用した観光振興事業	—	955	600	
養老鉄道を利用したイベント参加者数(人)				
えきまえ空き家利活用事業				
観光モデルコース創出数(コース)	—	9	8	
育成したガイド人数(人)	—	19	20	
来館者数(観光、サロン、ギャラリー等含む)(人)	—	4,369	3,800	

施策・指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
広神戸駅舎活用事業				
事務所開設日数（日）	—	13	10	➡
ガイド申込み数（回）	—	27	30	➡
ごうどブランドアンテナショップの設置				
来客者数（人）	—	—	2,000	—
ICTを活用した観光PR事業				
ごうど観光アプリダウンロード数	—	123	100	➡
観光プロモーション事業				
ばら菜の派遣回数（回）	10	24	50	➡
神戸町フォトコンテスト				
応募点数（点）	—	70	70	➡
公用車ラッピング事業				
年間運行日数（町内外を含む）	—	—	200	—

◆基本目標3 結婚・出産・子育ての希望に応えるまちの創生

施策・指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
両親学級				
講座の開催回数（回）	—	2	3	➡
受講者数（人）	—	43	90	➡
子育て世代包括支援センターの立ち上げ事業				
相談件数（件）	—	97	200	➡
1歳おたんじょう会事業				
参加率（％）	57.1	51.9	60.0	⬇
放課後児童クラブ拡充事業				
利用者数（累計人数）	218	319	300	➡
ワーク・ライフ・バランスの促進				
子育て講座や介護教室に参加する男性の割合（％）	—	44.2	45.0	➡
子育て世代就労支援講座の開催				
受講者数（累計人数）	10	17	10	➡
開催回数（回）	1	1	2	➡
子育て支援アプリ情報配信事業				
登録者数	—	—	230	—
多子（第3子以降）世帯の保育料助成事業				
助成を受ける世帯の割合（％）	19.6	25.4	13.0	➡

施策・指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
多子（第3子以降）世帯の給食費助成事業				
助成を受ける子の割合（%）	8.9	9.6	9.5	➡
特定不妊治療費助成の拡充				
受診件数（件）	24	17	40	➡
一般不妊治療費助成				
受診件数（件）	—	16	40	➡
はいはいベビー券交付事業				
助成対象者数（人）	—	119	120	➡
子育て応援タクシー費用助成事業				
利用者数（人）	—	2	10	➡
幼稚園給食費補助事業				
対象者数（人）	—	—	380	—
子ども自立支援トータルサポート事業				
巡回・観察回数（回）	8	17	20	➡
地域に根ざした教育の推進				
体験学習の実施回数（回）	20	75	80	➡
体験学習の参加者数（人）	1,000	4,265	3,500	➡
学校教育と企業・事業所との連携推進				
学校と企業との連携事業（事業）	—	5	5	➡
学校ICT環境整備事業				
学校情報化診断におけるレベル「2」以上の数	—	7	12	➡
タブレット端末1台あたりの児童生徒数（人）	—	4.53	3.40	➡

◆基本目標4 みんなが主役の安心であたたかい地域の創生

施策・指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
住民活動（NPO法人）の支援事業				
NPO法人数（累計数）	4	4	7	➡
女性が住みたくなるまちプロジェクト（神女会議）				
プロジェクトチームへの参加者数（人）	—	27	30	➡
プロジェクトチームによるまちづくりの検討会議開催回数（回）	—	3	3	➡
男女共同参画基本計画改定及び計画の推進				
男女共同参画講演会・研修会への参加者数（人）	—	106 (※H30)	150	➡
住民によるまちづくり事業の推進（神チャレ）				
住民によるまちづくり事業数（事業）	—	3	4	➡

施策・指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
神戸町ばらウォーキング事業	81	47	100	
参加者数 (人)				
町民の競技力向上事業	—	16,159	12,000	
参加者数 (人)				
若者向けのスポーツ講座の開催	—	1	2	
新規口座の開設数 (講座)				
生涯学習ボランティア指導者の育成	47	67	100	
登録者数 (人)				
ごうどスポレクDAY開催事業	—	2,500	3,000	
参加者数 (人)				
地域福祉活動人材育成	843	654	700	
福祉ボランティア登録者数 (人)				
防災資機材管理計画策定及び防災訓練				
防災資機材・防災備蓄品を継続的に管理している自治会数 (自治会)	49	49	50	
防災訓練に参加している住民の割合 (%)	23.9	24.1	25.0	
「子ども110番の家」設置推進事業	200	202	250	
子ども110番の家 (緊急避難所) 設置件数 (件)				
防犯カメラ等設置補助事業	—	1	2	
防犯カメラ等設置地区数 (地区)				
神戸町ごみ減量化推進事業	4.39t (基準値)	+1.0%	-0.5%	
可燃ごみの排出量 (t) (増減率 : %)				
養老線交通圏地域公共交通網形成計画の実施	730	700	770	
養老鉄道利用者数 (3駅の平日の平均) (人)				
養老鉄道パーク&ライドの推進	—	51	51	
パーク&ライド利用可能駐車台数 (台)				

◆基本目標5 広域連携による圏域の新たな魅力の創生

施策・指標	当初値 (平成27年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	状況
西美濃創生広域連携推進協議会による連携事業の実施 連携事業実施件数（件）	—	5	6	
国内海外プロモーション事業 ツール・ド・西美濃事業				
西濃圏域における観光客数（人）	1,477	1,403	1,470	
創業支援事業 UターンIターン支援事業 首都圏・関西圏大学内企業店参加支援事業				
創業希望者の支援件数（件）	15	18	30	
ハローワーク大垣管内の有効求人倍率	1.16	1.63	1.85	
西濃圏域定住促進PR事業 定住自立圏の促進 東京圏からの移住支援事業				
西濃圏域における転入者数（人）	12,000	13,681	13,000	

(3) 各基本目標の成果と課題

【基本目標1】 地域活力の源となる産業・雇用の創生

2つの指標「町内で働く従業員数」と「町内就業率」の最新数値は、令和2（2020）年度国勢調査の結果によるため対象期間内の成果を検証することはできませんが、数値を比較すると増加傾向にあることが分かります。しかし、このたびの新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う地域経済へのダメージは大変大きく、今後の推移に注意する必要があります。また、今後はこれまでの仕事の有り方や働き方が大きく変革し、都心への一極集中によるリスク回避のため、ますます地方における雇用創出が見直されることが推察されます。こうしたことを契機に、都市近郊という本町の立地条件を活かした新たな産業の掘り起こしが求められます。

【基本目標2】 地域の魅力を活かした新たなひとの流れの創生

この基本目標の推進のため、対象期間内において新たに10の事業を開始するなど積極的に取り組んできました。その結果、基本目標の指標である、転入者数は増加し、転出者については減少する傾向が見られました。町では「定住促進奨励金事業」を皮切りに、積極的に移住定住促進事業を行っているほか、神戸町土地開発公社による、町営住宅跡地2箇所の宅地分譲事業も進め、一定の効果が表れています。また、平成27（2015）年度には行政組織を改編し総務部

に「ふるさと発信課（再改編により現在は「まちづくり戦略課）」を新設し、町の情報発信や観光・イベントに注力してきました。今後も町の賑わいの創出、シティプロモーションを強化し町の魅力を発信するとともに、本町と継続的に関わる関係人口を増やしていくことが求められています。

【基本目標3】 結婚・出産・子育ての希望に応えるまちの創生

合計特殊出生率は、年ごとにばらつきがありますが、目標値（令和2（2020）年度）の達成は厳しい状況です。一方、子育て環境が満足と思う住民割合は、85.4%と目標値に近づけることができました。これは、KPI指標の目標達成のため計18事業を実施するなど、子育て・教育関係の分野において様々な取り組みを行った成果と考えています。しかしながら、共働き家庭の増加や、晩婚化、晩産化に伴う第1子出産年齢の上昇、就業スタイルの多様化等に伴う子育てに対するニーズもこれまで以上に求められています。このため、今後も、一人一人に寄り添った、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を継続して行うことにより、町民の満足度や合計特殊出生率の向上につなげていくことが必要です。

また、町では未来を担う子どもたちへの教育環境の整備と充実が重要であると考え、県下でもいち早くICT（情報通信技術）の推進に取り組むなど、確かな学力の育成、特色ある学校づくりなどに力を注いでいます。今後も、ICTを活用し子どもたちの学びが深まる質の高い授業の展開や支援を必要とする児童生徒へのきめ細かな対応など、教育環境の一層の充実を図り、神戸町で子育てしてよかったと思われるまちづくりを進めていく必要があります。

【基本目標4】 みんなが主役の安心であたたかい地域の創生

計画に掲げた住民協働事業や地域コミュニティ活動の推進により、「神戸町は住みやすい」、「今後も住み続けたい」と思う町民の割合はともに増加しました。今後も目標値の達成に向け各施策をより一層推進することによって、ひとが集い、誰もが安心して暮らせる持続可能なまちづくりが必要です。

【基本目標5】 広域連携による圏域の新たな魅力の創生

広域連携については、西美濃創生広域連携協議会（大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町・揖斐川町・大野町・池田町・本巣市の3市9町）において、広域観光の推進、産業振興、雇用促進、移住・定住促進に向けて、地域資源の利活用や企業の相談体制の充実、創業支援、地域の情報発信などについて連携して推進した結果、「西濃圏域における転入者数」の増加などの効果を上げることができました。今後も互いの特長や強みを活かして連携協力し、相互に高め合うなど、行政区域を越えた広域的な視点から取り組んでいく必要があります。

3 第2期総合戦略の基本的視点と基本目標

(1) 第1期総合戦略の推進状況を踏まえて

未達成の数値目標等があることから、第1期総合戦略の取り組みの継続を図りつつ、国・県の補助金など財源の確保に努めながら、より効果的な取り組みを進めていく必要があります。

(2) 現状及び人口展望を踏まえて

- ① 全国的に本格的な人口減少社会を迎え、本町においても平成12（2010）年をピークとして人口減少時代に入っています。このままの減少傾向が続いた場合、令和27年（2045）年には、総人口は、約13,700人（パターン②：住民基本台帳をもとにした直近5年間の移動率を用いた推計）となり、令和2（2020）年より約5,200人の減少となります。
- ② 生産年齢人口は、令和2（2020）年で10,641人（総人口の56.2%）が令和27（2045）年には約7,000人（同51.4%）に、同様に老年人口は、6,096人（総人口の32.2%）が約5,160人（同37.6%）となることを見込まれ、少子高齢化と現役世代（生産年齢人口）の減少が一層顕著になります。こうした人口構造の変化により、地域経済や消費活動の縮小、医療・福祉分野の人材不足、社会保障費の増大等を招くことが懸念されます。
- ③ 近年では、社会減の要因として大垣市、岐阜市、瑞穂市等の近隣市や愛知県への転出が多く、「職業上」を理由とする社会減の状況（特に若年世代）が続いていることから、より良い働き場を求めて転出していると考えられます。
- ④ これまでハローワーク大垣における有効求人倍率は、増加傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による深刻な経済不況から、落ち込みが予想されるため、今後の推移に注視する必要があります。
- ⑤ 今後の人口展望から、人口ビジョンにおける目標人口を達成するためには、人口の自然減、社会減への対策は同時にかつ積極的に実施する必要があります。
- ⑥ 人口減、社会減への対策を実施しつつ、持続可能なまちづくりや地域活性のため、Society5.0*の実現あるいは、多様性と包摂性のある社会の実現を目指したSDGsの達成に向けた取組を推進します。なお、本戦略では、以下のSDGsのうち、施策に関連のあるものをアイコンにより示します。

*Society5.0

狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く新たな社会を指すもので、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合されたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

SDGs における17 の目標

平成27(2015)年9月国連で採択された「SDGs」は、先進国を含む国際社会全体の「持続可能な開発目標」であり、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、あらゆる企業・行政等の利害関係者が経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、統合的に取り組むこととされています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- 目標 1: あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- 目標 2: 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- 目標 3: あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
- 目標 4: すべての人々への包括的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- 目標 5: ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
- 目標 6: すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
- 目標 7: すべての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- 目標 8: 包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の安全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇
用を促進する
- 目標 9: 強靱なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
- 目標10: 各国内及び各国間の不平等を是正する
- 目標11: 包括的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する
- 目標12: 持続可能な生産消費形態を確保する
- 目標13: 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- 目標14: 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
- 目標15: 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地
の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
- 目標16: 持続可能な開発のための平和で包括的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆる
レベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度を構築する
- 目標17: 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

出典: (公財)地球環境戦略研究機関(IGES)作成による仮訳をベースに作成(外務省)

これらを踏まえ、総合戦略の基本的視点を以下に設定し、施策の充実を図ります。

基本視点①・・・人口減少の抑制を図る！

人口の自然減に対応するため、子どもを安心して産み、健やかに育てやすい環境を整備するとともに、将来の神戸町を担う人材育成の視点に立った教育の充実に努めます。

基本視点②・・・住み続けたいと思えるまちを目指す！

神戸町に「ずっと住み続けたい」と思われるよう、防災対策の推進や雇用の充実、地域資源・産業の振興を図るなど、将来に渡って豊かで安心して暮らせるまちづくりを進めて、定住を促進していくことが重要です。

以上、2つの基本的視点に基づき、対応策をバランスよく実施し、かつ相乗効果が得られるように展開していきます。

(3) 基本目標

総合戦略では、2つの基本的視点のもと、国の総合戦略における施策分野を踏まえつつ、本町の実情にあわせて5つの基本目標を設定します。第2期総合戦略についても、神戸町人口ビジョンが示す将来的展望を実現するため、これまでの取り組みの実施状況や効果検証等を踏まえるとともに、**施策・事業の継続した展開の必要性**を考慮し、**第1期総合戦略で設定した基本目標を基本的に維持します。**(各目標の文言を一部修正。)

基本目標1 地域経済の活性化と魅力ある産業の創出

本町から転出する主な要因として、「職業上」の理由が最も多く、近年は生産年齢人口の減少が進行しています。住民の意向としても、産業振興として雇用対策の充実を望む声は依然として多く、地域を担う人材の育成と定着のためには、今までに増して産業の振興により「しごと」をつくり安心して働ける環境を整える必要があります。

企業誘致については、令和元(2019)年12月の東海環状自動車道大野神戸ICの開通及び周辺アクセス道路の整備により、その可能性が広がっています。令和2年12月に市街化区域を拡大したところであり、今後、関係機関と連携して魅力ある産業と就業機会が創出される環境づくりを推進します。

基本目標2 魅力を感じるまちづくりで新たな人の流れを創出

全国的に人口減少が進む中で、本町のみが転入者を増やしていくことは容易ではなく、まずは多くの人との関係を構築し、中長期的に移住定住につなげていく取組が必要になります。国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも盛り込まれているように、第2期総合戦略では関係人口の創出・拡大にも取り組むことが期待されています。

そのため、歴史的・文化的な資源やバラなどの地域資源の活用により、「にぎわい」のあるまちづくりを進めるとともに、魅力を創出することで交流人口や関係人口の拡大を目指し、次なる定住人口に繋がります。

基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまちを実現

共働き家庭の増加、時間的制約等を背景に子育てに対するニーズが多様化しているほか、依然として経済的な理由から結婚・出産に不安を抱く若者も多くいます。生産年齢人口の減少に歯止めをかけるためにも、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を継続して行うことにより、神戸町で安心して結婚し、子育てして良かったと思われるまちづくりを進めます。

また、子どもを育てやすい環境を整備するとともに、将来の神戸町を創造し、担っていくことができるよう、幼児・学校教育の一層の充実を図り、若い世代が自らの夢や希望をかなえられるまちづくりを推進します。

基本目標 4 誰もが安心して暮らすことのできる持続可能なまちを創出

神戸町に住みたい・住み続けたいと思える定住環境として魅力を高める必要があります。そのため、住民の自立や安心できる暮らしの支援を図り、生まれ育った郷土への誇りや愛着を醸成することにより、町外への人口転出を抑制します。

また、町民サービスの水準を保ち、魅力的なまちづくりを進めるため、既存の業務をAIなどの新しい技術を活用してオンライン化やデジタル化することにより、業務の効率化や町民サービスの向上を図ることで、持続可能な行政運営を推進します。

基本目標 5 広域連携による個性ある地域を実現

住民の生活圏域や交流圏域は、行政区域を越えて広域化しています。西美濃地域の市町をはじめ、幅広い主体との連携を通じて地域全体で雇用の機会の創出、産業の振興、広域観光の推進、移住定住の促進、創業支援、地域の情報発信など、相互に連携しながら取り組みます。

(4) 施策の体系

基本目標1 地域経済の活性化と魅力ある産業の創出

施策1：本町の経済を支える地域産業の活性化

1. 雇用拡大事業奨励金
2. 創業支援事業補助金
3. 観光農園支援事業補助金
4. 新規企業の誘致促進
5. 特産品開発支援事業費補助金
6. プレミアム商品券発行事業
- 【新規】7. 元気な中小企業・小規模事業者サポート補助金
- 【新規】8. 元気な園芸農業サポート補助金

基本目標2 魅力を感じるまちづくりで新たな人の流れを創出

施策1：移住・定住を促進する住環境の整備

1. 定住促進奨励金事業
2. 三世代同居等支援奨励金事業
3. 移住者の通勤支援事業
4. 東京圏からの移住支援事業
5. 空家バンク運営事業
6. 養老線交通圏地域公共交通網形成計画の実施
7. 高校生通学定期券購入助成金事業

施策2：地域資源を活かして交流人口や関係人口を拡大

1. 観光交流館ひよしの里運営事業
2. ごうど観光ボランティアガイドの会によるガイド活動の支援
3. 養老鉄道を活用した観光振興事業
4. ふるさと納税寄附者への暑中見舞い発送事業
5. VISIT岐阜県ガイドコースの充実

施策3：本町の魅力を発信するPR活動

1. ICTを活用した観光PR事業
2. フォトコンテスト開催事業
3. 神戸町魅力発信イベント事業
4. メディアによるイメージアップ推進
5. 公共施設花飾り展示事業

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまちを実現

施策1：安心して結婚・出産・子育てができる切れ目のない支援

1. 両親学級（親業講座）の開催
2. 子育て支援アプリ「ばら菜び」情報配信事業
3. 子育て応援タクシー助成事業
4. 子育て世代就労支援事業
5. ワーク・ライフ・バランスの促進
6. 特定不妊治療費の助成
7. 一般不妊治療費の助成
8. 産後ケア事業
9. 子ども家庭総合支援拠点事業
10. 地域子育て支援拠点事業
11. 病児・病後児保育事業
12. 子育て短期支援事業
13. 子育て支援センター 一時預かり保育事業
14. もうすぐパパママ準備金給付金事業
15. ごうど児童館整備事業
16. 幼児園児・中学生給食費無償化事業

【新規】17. 小学生給食費無償化事業

【新規】18. 認定こども園・幼稚園等3歳以上児給食費助成事業

【新規】19. 結婚新生活支援事業

施策2：未来を担う子どもを育てる教育の推進

1. 子ども自立支援トータルサポート事業
2. 地域に根ざした教育の推進
3. 学校ICT教育環境整備事業
4. コミュニティ・スクールの充実

【新規】5. 校内教育支援センター運営事業

基本目標4 誰もが安心して暮らすことのできる持続可能なまちを創出

施策1：まちづくりへの住民参画の推進

1. 住民によるまちづくり事業の推進（神チャレンジプロジェクト）
2. 女性が住みたくなるまちプロジェクト（神女会議）
3. 男女共同参画基本計画改定及び計画の推進
4. 地域福祉活動人材育成
5. まちづくり活動助成金事業

施策2：生涯学習・スポーツの推進

1. ごうどローズスタジアム活用事業
2. 若者向けのスポーツ講座の開催
3. 生涯学習ボランティア指導者の育成
4. ごうどスポレクDAY開催事業
5. 文化遺産の活用推進事業

施策3：地域の安全・安心を強化

1. 「子ども110番の家」設置推進事業
2. 防犯カメラ等設置補助事業
3. 防災計画各種マニュアルの更新事業
4. まちかど防犯カメラ導入事業
- 【新規】5. 防災行政無線設備（同報系）更新事業
- 【新規】6. 木造住宅耐震補強補助事業

施策4：行政デジタル化の推進

1. LINEを活用した行政デジタル化事業
2. 公共施設予約システムの導入事業
3. ごうど情報アプリ導入事業
4. コンビニ交付サービス事業
- 【新規】5. キャッシュレス決済端末導入事業
- 【新規】6. 『書かない窓口』導入事業

施策5：環境にやさしい地域社会の形成

1. ゼロカーボンシティごうど推進事業
- 【新規】2. 次世代自動車購入費補助金事業
- 【新規】3. エコプラザごうど建設事業

基本目標5 広域連携による個性ある地域を実現

施策1：互いの強みを活かした経済活動の推進

1. 西美濃創生広域連携推進協議会による連携事業の実施
2. 創業支援事業
3. ビズモデル型支援センター（ガキビズ）運営事業

施策２：互いの魅力を活かした人の流れの創生

1. 観光プロモーション事業
2. ツール・ド・西美濃事業
3. 西濃圏域定住促進PR事業

4 第2期総合戦略の数値目標と具体的な施策について

基本目標1 地域経済の活性化と魅力ある産業の創出



数値目標

指 標	現況値	目標値 (R6)
①製造業従業者数	3,395人	3,500人
②町内事業所数	702件	710件

※①基準値 出典:経済産業省「工業統計」(R元)

※②基準値 出典:総務省「経済センサス活動調査」(H28)

基本的方向

都市近郊の立地条件を活かし、魅力ある産業と就業機会を創出するとともに、様々な地域資源を活かして地域経済の活性化に取り組みます。

◆施策1 本町の経済を支える地域産業の活性化

1. 雇用拡大事業奨励金	重要業績評価指標 (KPI)	
町民を正規従業員として雇用、町外在住者の神戸町への定住を促進するため、新規雇用を行った事業者に対して奨励金を交付する。	●新規就労者数 (累計者数)	
	現況値	24人 (R4)
	目標値	30人
2. 創業支援事業補助金	重要業績評価指標 (KPI)	
新たな需要と雇用の創出を促進し、町の産業振興及び活性化を図ることを目的に、町内で新たに創業される方に対して補助金を交付する。	●支援企業数 (累計社数)	
	現況値	7件 (R4)
	目標値	10件
3. 観光農園支援事業補助金	重要業績評価指標 (KPI)	
施設野菜等の収穫体験の受入について支援補助金を交付することで、地元野菜等のPRをし、販路拡大やブランド力の向上を図る。	●参加者数	
	現況値	36人 (H30)
	目標値	30人

4. 新規企業の誘致推進	重要業績評価指標 (KPI)	
関係機関や事業者間との情報交換、協力・連携により、新規企業の育成・支援を図り、本町の立地条件を活かした企業誘致を推進する。	●新規企業誘致数 (累計社数)	
	現況値	—
	目標値	1社
5. 特産品開発支援事業費補助金	重要業績評価指標 (KPI)	
神戸町の特色を活かした特産品の開発を進める事業者等に対して、その開発や商品化に要する費用の一部を補助することにより、町ならではの特産品の開発を促進し、地域産業の活性化を図る。	●申請件数 (累計件数)	
	現況値	0件 (R4)
	目標値	12件
6. プレミアム商品券発行事業	重要業績評価指標 (KPI)	
神戸町と神戸町商工会が連携して神戸町プレミアム商品券を発行し、長引くコロナや物価高騰の影響を受けている町民の経済的な負担の軽減と、地域経済の活性化を図る。	●販売総額 (単位：千円)	
	現況値	—
	目標値	150,000 (R5)
7. 元気な中小・小規模事業者サポート補助金 【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
町内事業者の販路拡大、業務効率化、生産性・付加価値向上、新分野展開など様々な活動に係る経費の一部を補助することで事業者を支援し、地域経済の活性化を図る。	●申請件数 (単位：件)	
	現況値	—
	目標値	20件
8. 元気な園芸農業サポート補助金 【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
スマート農業や有機農業の推進等に取り組む農業経営者に対し補助金を交付し、農業資材等の高騰による農業経営への影響を緩和するとともに、持続性の高い農業への転換を推進する。	●申請件数 (単位：件)	
	現況値	—
	目標値	100件

基本目標2 魅力を感じるまちづくりで新たな人の流れを創出



数値目標

指標	現況値	目標値 (R6)
①転入者数	700	720
②転出者数	761	750

※①②基準値 出典：岐阜県人口動態統計調査結果 (R1)

基本的方向

これまで以上に多くの人々が神戸町を訪れるように、神戸町の魅力をさらに磨き上げ情報発信を強化したり、定期的な交流活動の取り組みを進めたりして、交流人口や関係人口を増やすとともに、引き続き、移住・定住に関する支援策を推進します。

◆施策1 移住・定住を促進する住環境の整備

1. 定住促進奨励金事業	重要業績評価指標 (KPI)
町内に新たに新築住宅、または中古住宅を取得する者に対して奨励金を給付し、定住の促進を図る。	●奨励金交付件数 (件)
	現況値 46件/年 (R4)
	目標値 50件/年
2. 三世同居等支援奨励金事業	重要業績評価指標 (KPI)
町内の既存住宅の同一敷地に「離れ家」を増築、または「母屋」の建替えを行い、新に三世で同居を始めた世帯に対し奨励金を交付し定住の促進を図る。	●奨励金交付件数 (累計件数)
	現況値 5件 (R4)
	目標値 8件
3. 移住者の通勤支援事業	重要業績評価指標 (KPI)
町外からの転入者 (養老鉄道の駅周辺に移住された方) で、養老鉄道を利用し通勤・通学される方の通勤・通学定期券購入の助成を行い、併せて養老鉄道の利用促進を図る。	●助成件数 (累計件数)
	現況値 9件 (R4)
	目標値 11件
4. 東京圏からの移住支援事業	重要業績評価指標 (KPI)
県内中小企業等を対象としたマッチングサイトを活用して就業もしくは岐阜県内で起業した東京圏からの移住者に支援金を給付する。	●年間申請者数
	現況値 0件 (R4)
	目標値 1件

5. 空家バンク運営事業	重要業績評価指標 (KPI)	
空家バンクにおいて、空家を所有する方（売却あるいは賃貸の希望）から家屋情報の提供を求め、一元的に情報を管理し、空家の活用に向けて、不動産業者への情報提供、取得希望者へのあっせんを図る。	●空家の物件登録・利用申込件数	
	現況値	7件/年 (R4)
	目標値	10件/年
6. 養老線交通圏地域公共交通網形成計画の実施	重要業績評価指標 (KPI)	
養老線交通圏地域公共交通網形成計画に位置付けられた各種施策・事業を実施し、通勤通学利用者の利便性を確保するため、利用者ニーズに対応した養老線サービスの充実を図るとともに、持続可能な公共交通の確保と維持を図る。	●養老鉄道利用者数 (3駅の平日の平均) (人)	
	現況値	643人 (R4)
	目標値	800人
7. 高校生世代通学定期券購入助成金事業	重要業績評価指標 (KPI)	
令和3年度から開始した「高校生世代養老鉄道・名阪近鉄バス通学定期券助成事業」は、「養老鉄道と名阪近鉄バス」に限定していたが、令和4年度からは、「公共交通機関全般の通学定期券」に対象を広げる。助成金額の上限を設けるものの、対象となる高校生世代を増やすことにより、公共共通機関の利用促進と子育て世代の経済的支援を行う。	●助成者数 (人)	
	現況値	211人 (R4)
	目標値	280人

施策2 地域資源を活かして交流人口や関係人口を拡大

1. 観光交流館ひよしの里運営事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>養老鉄道広神戸駅前にある「ごうど観光交流館ひよしの里」において、サロン及び歴史・文化財を紹介するギャラリー、企画展が実施できるスペースを「賑わいのあるまちづくり協議会」と協働で運営を行っている。町民のふれあい及び交流人口の増加による、まちの賑わいを図る。また、神チャレのテーマである「花のあるくらしづくり」事業の担い手として、まちづくり活動を協働で実施する。</p>	●来館者数 (人)	
<p>現況値</p>		3,400人 (R4)
<p>目標値</p>		5,000人/年
2. ごうど観光ボランティアガイドの会によるガイド活動の支援	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>養老鉄道広神戸駅の駅舎の一部を養老線管理機構から無償で借り受け、「観光ボランティアガイドの会」の事務所として使用している。ここを拠点として、鉄道を利用する観光客を含め、神戸町の魅力と情報を発信する。また、神チャレのテーマである「郷土愛を育む」事業の担い手として、まちづくり活動を協働で実施する。</p>	●年間ガイド数 (回)	
<p>現況値</p>		22回/年 (R4)
<p>目標値</p>		40回/年
3. 養老鉄道を活用した観光振興事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>養老鉄道沿線の近隣市町との連携や他の鉄道会社とタイアップにより、養老鉄道を利用した観光振興を促進し、鉄道利用者の増加及び地域の観光スポット・祭り等への来訪者の増加を図る。</p>	●養老鉄道を利用したイベント参加者数 (人)	
<p>現況値</p>		955人/年 (R1)
<p>目標値</p>		1,200人/年
4. ふるさと納税寄附者への暑中見舞い発送事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>ふるさと納税寄附者に対し、町の紹介やふるさと納税の返礼品を紹介した「暑中見舞い」を送付し、町への興味、次回のふるさと納税へ誘導するとともに、関係人口づくりにつなげる。</p>	●送付数	
<p>現況値</p>		2,763部/年 (R4)
<p>目標値</p>		5,500部/年
5. VISIT岐阜県ガイドコースの充実	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>岐阜県観光連盟が企画する、岐阜県内の観光名所を巡るツアーの予約サイト「VISIT岐阜県」において、充実した町内の観光ガイドコースを設定して、観光客の誘客を図る。</p>	●サイト掲載ガイドコース	
<p>現況値</p>		4コース (R4)
<p>目標値</p>		5コース

施策3 本町の魅力を発信するPR活動

1. ICTを活用した観光PR事業	重要業績評価指標 (KPI)	
スマートフォン観光アプリ等の活用により、説明する人材や案内人の不足を補いつつ、神社仏閣や文化財、公園等の観光資源を活用したPRを行う。	●ごうど観光アプリのダウンロード数	
	現況値	68件 (R4)
	目標値	150件
2. フォトコンテスト開催事業	重要業績評価指標 (KPI)	
年間を通じ、風景、風物詩、人物等の写真を公募し、優秀な作品を表彰することにより、住民自らが本町の良さを再発見するとともに、その素材を年間カレンダー、観光パンフレット等に活用する。さらに、インスタグラムに投稿された町内の写真の応募も可能とするほか、投稿写真を町のアカウントにおいてもシェアすることで町内の美しい風景等を若い世代にも広める。	●応募件数	
	現況値	147件 (R4)
	目標値	300件
3. 神戸町魅力発信イベント事業	重要業績評価指標 (KPI)	
町の魅力をより多くの人に知ってもらうため、魅力を発信するイベントを開催することで、活性化につなげる。	●イベント開催数	
	現況値	—
	目標値	1回/年
4. メディアによるイメージアップ推進	重要業績評価指標 (KPI)	
町のイメージアップ等を鉄道駅等の有料広告媒体を活用して積極的にPRし移住・定住のきっかけをつくる。また、町の紹介や観光宣伝のためのPR映像を制作し、インターネットや公共施設等で放映することにより、知名度を高め定住促進につなげる。	●移住に関する相談等件数	
	現況値	—
	目標値	10件
5. 公共施設花飾り展示事業	重要業績評価指標 (KPI)	
新型コロナウイルス感染症の影響により低迷している花きの消費拡大を目的に町内外の多くの人々が利用する公共施設において、町特産の「バラ」、「アルストロメリア」を活用した花飾りを設置し、生産者の経営の一助とするとともに、「バラ」、「アルストロメリア」のPRを行う。	●町公式SNS「いいね」数	
	現況値	876件 (R4)
	目標値	1,000件

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまちを実現



数値目標

指 標	現況値	目標値 (R6)
①合計特殊出生率	1.30	1.60
②子育て環境が満足と思う住民割合	85.4%	90.0%

※①基準値 出典：西濃地域の公衆衛生統計（岐阜県）H30 神戸町数値

※②「神戸町のこれからのまちづくり」に関するアンケート調査における「大変満足」、「やや満足」、「普通」の回答割合 (R2)

基本的方向

若者や子育て世代から選ばれるまちの実現に向け、神戸町で安心して結婚し、子どもを産み育てることができるよう、子育て支援サービスのさらなる充実を図るとともに、結婚から育児に関するきめ細かな事業を実施し、一人一人に寄り添った切れ目のない支援を行います。

施策1 安心して結婚・出産・子育てできる切れ目のない支援

1. 両親学級（親業講座）の開催	重要業績評価指標 (KPI)	
妊娠、出産、育児に関する知識の習得とともに、地域で子育てしていくための関係づくりを行う。また、夫及びその家族を対象とすることで、家族の積極的な育児参加を促す。	●受講者数 (人)	
	現況値	41人 (R4)
	目標値	60人
2. 子育て支援アプリ「ばら菜ピ」情報配信事業	重要業績評価指標 (KPI)	
乳幼児健康診査や予防接種、町内幼稚園に関する情報やイベント案内など、子どもの成長に合わせて、町から情報を提供する子育て支援アプリを活用し、妊娠期から子育てに役立つ各種情報を配信する。	●利用者数	
	現況値	255人 (R4)
	目標値	330人
3. 子育て応援タクシー助成事業	重要業績評価指標 (KPI)	
妊産婦健康診査や出産及び乳幼児の健康診査や予防接種のために利用したタクシー費用の一部を助成する。(運転免許や車がない、近くに頼る人がいない、緊急時の出産等の場合)	●利用者数	
	現況値	0人 (R4)
	目標値	5人

4. 子育て世代就労支援事業	重要業績評価指標 (KPI)	
子育て中の母親や家事と仕事の両立を考えている主婦等を対象に、就職支援講座を開設し、子育て世代の就労を支援する。	●受講者数	
	現況値	0人 (R4)
	目標値	5人
5. ワーク・ライフ・バランスの促進	重要業績評価指標 (KPI)	
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス*）を促進するため、町民や事業者への意識啓発や育児・介護休業制度の普及に向けた啓発等を行い、仕事と家事・子育て・介護等が両立できる社会を実現する。	●両親学級（親業講座）に参加する男性の割合（%）	
	現況値	50.0% (R4)
	目標値	50.0%
6. 特定不妊治療費の助成	重要業績評価指標 (KPI)	
特に治療費が高額な「体外受精」又は「顕微授精」による不妊治療や男性の不妊治療を受けている夫婦に対し、不妊治療費の一部を助成する。(R4より保険適用)	●助成件数（延べ）	
	現況値	5回 (R4)
	目標値	30回 (R4)
7. 一般不妊治療費の助成	重要業績評価指標 (KPI)	
タイミング療法・薬物治療・手術療法・人工授精等の不妊治療を行っている夫婦に対し、不妊治療費の一部を助成する。(R4より保険適用)	●助成件数（延べ）	
	現況値	0回 (R4)
	目標値	10回 (R4)
8. 産後ケア事業	重要業績評価指標 (KPI)	
家族からの産後の援助が受けられないなど育児を特に必要とする母子を対象に、育児不安を解消し心身の安定を図るために、訪問・通所・宿泊サービスを提供する。	●利用回数（延べ）	
	現況値	11回 (R4)
	目標値	10回
9. 子ども家庭総合支援拠点事業	重要業績評価指標 (KPI)	
地域の全ての子ども・家庭の相談に対応する子ども支援の専門性をもった機関として、子育て世代包括支援センターや要保護児童対策地域協議会と連携しながら在宅支援ができる体制づくりを進める。	●相談件数（件）	
	現況値	181件 (R4)
	目標値	120件
10. 地域子育て支援拠点事業	重要業績評価指標 (KPI)	
子育て支援センターを中心に、親子が交流しながら仲間づくりができる場を提供するとともに、地域のボランティア団体等の参画による支え合い、地域の子育て力の向上を図る。	●利用者数	
	現況値	7,500人 (R4)
	目標値	11,200人

*ワーク・ライフ・バランス

働くすべての人が「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。

1 1. 病児・病後児保育事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に、病院等において、病気の子どもを一時的に保育することで、安心して子育てができる環境整備を図る。また、3人以上の児童を養育する世帯等の利用料を無償にする。</p>	●利用登録者数	
	現況値	22人(R4)
	目標値	50人
1 2. 子育て短期支援事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>保護者の疾病や仕事等により、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合や、夜間保護者が不在となることで児童を養育する事が一時的に困難となった場合に、実施施設において養育及び保護を行い、子どもが安心して安全に過ごせるよう支援を行う。</p>	●利用日数(件)	
	現況値	0日(R4)
	目標値	5日
1 3. 子育て支援センター 一時預かり保育事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>家庭保育をしている保護者が、孤立してストレスを抱え込むことがないように、お子さんを一時預かりし、親さんのリフレッシュや育児の負担軽減を図る。また、利用促進を図るため、新生児出生世帯にクーポン券を配布し利用を促進する。</p>	●利用延べ人数	
	現況値	66人(R4)
	目標値	75人
1 4. もうすぐパパママ準備金事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>母子健康手帳の交付を受けた妊娠20週以降の妊婦がいる家庭に対し、出産準備金5万円を支給し、家庭の経済的負担軽減を図る。 ※併せて、新生児及び1歳未満の転入児1人につき5万円の育児用品等購入券(はいはいベビー券)も支給。</p>	●支給対象者	
	現況値	—
	目標値	100人
1 5. ごうど児童館整備事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>八条地区にある「神戸町ふれあいセンター」を改修し、子どもの遊び場、地域の方々のふれあいの場とすることを目的に、「ごうど児童館」を整備する。 ※開館予定：令和7年度</p>	●利用者数	
	現況値	—
	目標値	—
1 6. 幼児園児・中学生給食費無償化事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>幼児園児・中学生の給食費を無償化することにより、保護者の経済的負担を軽減し、子どもの健やかな成長と子育て支援を推進する。</p>	●対象者数	
	現況値	867人(R4)
	目標値	896人

17. 小学生給食費無償化事業【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
小学生の学校給食費を無償化することにより、保護者の経済的負担を軽減させるとともに、子どもの健やかな成長と子育て支援を推進する。	●対象者数	
	現況値	—
	目標値	859人
18. 認定子ども園・幼稚園等3歳以上児給食費助成事業【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
町外の認定こども園・幼稚園等を利用する3歳以上児の給食費を補助することにより、子育てを行なう家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進する。	●対象者数	
	現況値	—
	目標値	80人
19. 結婚新生活支援事業【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
経済的理由で結婚に踏み出せない世帯を対象に、結婚に伴う新生活に係る住居費や引越費用の一部を支援することにより、少子化対策及び若年層の定住促進を図る。	●申請件数	
	現況値	—
	目標値	2組

施策2 未来を担う子どもを育てる教育の推進

1. 子ども自立支援トータルサポート事業	重要業績評価指標 (KPI)	
就学前の幼児・児童について、相談支援チームが障害の早期発見及び支援を実施し、幼稚園から中学校までを通した一貫支援を推進するために、「神戸町スマイルブック」を作成し、支援体制の整備を推進する。	●巡回・観察回数	
	現況値	17回 (R4)
	目標値	20回
2. 地域に根ざした教育の推進	重要業績評価指標 (KPI)	
本町の特産品等の収穫体験や養老鉄道を活用した課外学習を促進し、地域と連携した様々な体験学習を実施する。	●体験回数の実施回数	
	現況値	25回 (R4)
	目標値	80回
3. 学校ICT教育環境整備事業	重要業績評価指標 (KPI)	
個別最適な学びを実現するために町内小中学校現場において、ICT関連機器等を導入することにより、次世代を担う子どもたちの学力の向上を図る。	●学校診断におけるレベル「2」以上の数	
	現況値	9 (R4)
	目標値	12
4. コミュニティ・スクールの充実	重要業績評価指標 (KPI)	
子どもや学校が抱える課題の解決のため、また、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、地域社会総掛かりでの教育の実現が必要であり、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」を導入し、その充実を図る。	●小中学校の学校運営協議会の設置件数	
	現況値	5件 (R4)
	目標値	5件
5. 校内教育支援センター運営事業【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
不登校生徒が学校に安心して通い、個のニーズに応じた学びができる環境を整え、生徒及び保護者の支援をすることで、生徒が自らの進路を主体的に捉え社会的自立を目指すようにする。	●利用者数	
	現況値	—
	目標値	10人

基本目標 4 誰もが安心して暮らすことのできる持続可能なまちを創出



数値目標

指 標	現況値	目標値 (R6)
①住みやすさの評価 (神戸町が住みやすいまちだと思う住民割合)	87.2%	90.0%
②町民の定住意向 (今後も住み続けたいと思う住民割合)	61.9%	70.0%

※①基準値 出典:「神戸町のこれからのまちづくり」に関するアンケート調査 (R2) における「住みやすい」、「まあまあ住みやすい」、「普通」の回答割合

※②基準値 出典:「神戸町のこれからのまちづくり」に関するアンケート調査 (R2) における「ずっと神戸町に住みたい」、「神戸町外に出ても将来的には神戸町で落ち着きたい」の回答割合

基本的方向

「住み続けたい」と思えるような地域をつくるため、日常生活サービス機能を維持、確保はもちろんのこと、地域資源を最大限に生かし、地域内における連携を進めるとともに、新しい時代の流れを的確に地域の力として取り入れていきます。

施策 1 まちづくりへの住民参画の推進

1. 住民によるまちづくり事業の推進 (神チャレンジプロジェクト)	重要業績評価指標 (KPI)	
町が抱えているまちづくりの課題解決に向けた事業を、職員と町民が一緒に考え協働で実施する。町を元気にする取り組みを応援し、担い手の育成を目指す。	●まちづくり事業数	
	現況値	2事業 (R4)
	目標値	5事業
2. 女性が住みたくなるまちプロジェクト (神女会議)	重要業績評価指標 (KPI)	
女性に限定したプロジェクトチームにおいて、女性ならではの視点や感性を活かして住みやすいまちづくりを検討する。	●参加者	
	現況値	27人 (R1)
	目標値	30人
3. 男女共同参画基本計画改定及び計画の推進	重要業績評価指標 (KPI)	
現在の神戸町男女共同参画プランの見直しのほか、住民アンケートやパブリックコメントの活用、講演会の開催により、住民意識の啓発を図る。	●男女共同参画講演会等への参加者数	
	現況値	106人 (H30)
	目標値	150人

4. 地域福祉活動人材育成	重要業績評価指標 (KPI)	
少子高齢化、核家族化に伴う地域での多様な福祉ボランティア活動等の需要の高まりに対し、住民が自主的に地域福祉活動に参加できるよう体験会や研修会を開催し、多様な人材育成を推進する。	●福祉ボランティア登録者数	
	現況値	559人 (R4)
	目標値	現状維持
5. まちづくり活動助成金事業	重要業績評価指標 (KPI)	
少子高齢化や核家族化など社会の変化に伴って、地域の課題は多様化、複雑化してきており、行政の力だけでなく、住民の多彩で柔軟な発想と機動的な力が必要となっている。そこで協働のまちづくりを推進するため、住民による自主的で公益性のある活動に対して、まちづくり活動助成金を交付する。	●申請件数	
	現況値	3件 (R5)
	目標値	5件

施策2 生涯学習・スポーツの推進

1. ごうどローズスタジアム活用事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>ごうど中央スポーツ公園野球場（ごうどローズスタジアム）で全国大会や県大会等を開催することで、各地からの来町者の増加につなげるとともに、軟式野球競技への関心を深める。</p>	●ごうどローズスタジアムの利用者数	
	現況値	9,227人 (R4)
	目標値	18,000人
2. 若者向けのスポーツ講座の開設	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>若者をターゲットとしたスポーツ講座をごうどスポーツクラブと連携して開催し、若年世代の参加率向上を図る。</p>	●新規講座の開設数（累計）	
	現況値	1講座 (R1)
	目標値	4講座
3. 生涯学習ボランティア指導者の育成	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>指導力向上のため研修会を開催し、育成機会の充実を図る。また、生涯学習指導者・生涯学習ボランティア等の情報交換の場、交流の場を設け、人材育成を促進する。</p>	●指導者登録者数	
	現況値	61人 (R4)
	目標値	80人
4. ごうどスポレクDAY開催事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>スポーツが町民にとってより身近なものになるよう、行政と各スポーツ団体が協働して、誰もが取り組めるスポーツイベントとして開催する。子どもから高齢者まで幅広い世代の町民の方に気軽にスポーツに親しめる機会の提供を図る。</p>	●参加者数	
	現況値	2,500人 (R1)
	目標値	2,500人
5. 文化遺産の活用推進事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>神戸山王まつりをはじめ、地域のまつりは文化財として、誰もが愛着を持ち、次世代に継承する必要がある。それら文化遺産を活用し、その魅力を発信するための事業に取り組む。</p>	●活用推進事業数	
	現況値	3事業 (R4)
	目標値	3事業

施策3 地域の安全・安心を強化

1. 「子ども110番の家」設置推進事業	重要業績評価指標 (KPI)	
子ども110番の家を設置することで、子どもたちが安全に生活できる環境整備に努める。	●設置件数	
	現況値	186件 (R4)
	目標値	220件
2. 防犯カメラ等設置補助事業	重要業績評価指標 (KPI)	
各地区が犯罪防止のため、道路等公共の場所に設置する防犯カメラ等の設置事業費の一部について補助し、安全安心なまちづくりを推進する。	●防犯カメラ等設置地区数	
	現況値	0地区 (R4)
	目標値	2地区
3. 防災計画各種マニュアルの更新事業	重要業績評価指標 (KPI)	
令和2年度に更新した神戸町防災計画に基づき、各種マニュアルについても順次更新をする。初動体制の重要性を認識し、分かりやすく有効性のあるマニュアル策定に努める。	●マニュアルに基づいた防災訓練の開催数	
	現況値	1回/年 (R4)
	目標値	1回/年
4. まちかど防犯カメラ導入事業	重要業績評価指標 (KPI)	
犯罪抑止のため、公共施設付近だけでなく、小中学校通学路を中心とした道路等公共空間を撮影する防犯カメラを設置し、安心・安全に生活できるようにする。	●設置台数	
	現況値	—
	目標値	50台 (R5)
5. 防災行政無線設備（同報系）更新事業【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
アナログ方式からデジタル方式へ移行するとともに、スマートフォン向けアプリと連携するなど、町民への情報配信をより効果的に行う。	●戸別受信機設置割合	
	現況値	—
	目標値	—
6. 木造住宅耐震補強補助事業【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
町民の安全・安心を確保し、地震被害の軽減を図るため、旧耐震基準で建築された木造建築物の耐震補強工事の補助金を、国・県の補助に町の補助を上乗せし、木造住宅の耐震化を加速させる。	●工事件数	
	現況値	—
	目標値	5件

施策4 行政デジタル化の推進

1. LINEを活用した行政デジタル化事業	重要業績評価指標 (KPI)	
岐阜県内の市町村と共同でデジタル化を進めていくため、LINEを入口として「オンライン申請」や「AIチャットボット」を導入する。簡素で効率的な行政手続きの実現を目指す。	●電子申請のできる手続きの種類	
	現況値	5件 (R4)
	目標値	10件
2. 公共施設予約システムの導入事業	重要業績評価指標 (KPI)	
時間や場所の制約を受けずにインターネットを活用して、公共施設の空き状況の確認や予約申込みができるシステムを導入して利用者の利便性の向上を図る。	●利用者数	
	現況値	308人 (R4)
	目標値	200人
3. ごうど情報アプリ導入事業	重要業績評価指標 (KPI)	
町民に伝えたい情報をスムーズに提供する媒体として神戸町オリジナルのスマートフォン用アプリを作成し、効率的に情報を得られるようにサービスの構築を図る。	●アプリのダウンロード数 (累計)	
	現況値	2,141件 (R4)
	目標値	3,000件
4. コンビニ交付サービス事業	重要業績評価指標 (KPI)	
マイナンバーカードを利用し、コンビニエンスストアでの住民票等各種証明書発行を可能とすることにより、役場以外および窓口開設時間にとらわれない証明書交付サービスを提供し、住民サービスの向上を図る。	●証明書の発行件数	
	現況値	151件 (R4)
	目標値	480件
5. キャッシュレス決済端末導入事業【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
手数料・使用料等の収納事務について、現金に加えクレジットカード・交通系・流通系電子マネー・QRコード決済による支払いに対応することで、来庁者における利便性の向上を図る。	●利用件数	
	現況値	—
	目標値	100件
6. 『書かない窓口』導入事業【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
窓口サービスをデジタル化し、住民サービスの向上と業務の効率化を図る。	●利用割合	
	現況値	—
	目標値	7割

施策5 環境にやさしい地域社会の形成

1. ゼロカーボンシティーごうど推進事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>2020年10月に政府は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すと言明した。このため、町では、脱炭素社会実現への取り組みとしてゼロカーボンシティーの宣言を行うとともに関連事業を実施する。</p>	●EV急速充電設備利用台数	
	現況値	—
	目標値	150台
2. 次世代自動車購入費補助金事業【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>環境性能に優れた次世代自動車の普及を図り、温室効果ガス排出量の削減を図る。</p>	●申請台数	
	現況値	—
	目標値	15台
3. エコプラザごうど建設事業【新規】	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>現在の施設の老朽化及び利用者の利便性を図るため、場所を移転し新しいエコ施設（マテリアルリサイクル施設）を建設する。※開館予定：令和7年度</p>	●利用者数	
	現況値	—
	目標値	—

基本目標 5 広域連携による個性ある地域を実現



数値目標

指 標	現況値	目標値 (R6)
西濃圏域の観光消費額	275.1億円	増加
西美濃地域の製造業従業者数	48,675人	増加

※西美濃創生広域連携協議会 (R2)。数値目標等は協議会において設定されたものを採用。

基本的方向

関係人口・交流人口の増加や経済活動の活性化に向け、西美濃地域の市町をはじめ、大学等様々な主体との連携を図ります。

施策 1 互いの強みを活かした経済活動の推進

1. 西美濃創生広域連携推進協議会による連携事業の実施	重要業績評価指標 (KPI)	
西濃圏域の市町の連携を推進するため、広域観光の推進、産業振興と雇用促進、移住・定住の促進などの事業について、西美濃創生広域連携推進協議会を中心に、西美濃広域観光推進協議会等、関係団体と連携して実施する。	●連携事業実施件数	
	現況値	5件 (R4)
	目標値	6件
2. 創業支援事業	重要業績評価指標 (KPI)	
西濃圏域の市町に創業支援総合窓口を設置し、来庁者の希望に沿った西濃圏域内の創業支援情報を提供する等、関係機関と連携した創業支援を推進する。	●創業希望者の支援件数	
	現況値	203件 (R4)
	目標値	増加
3. ビズモデル型支援センター (ガキビズ) 運営事業	重要業績評価指標 (KPI)	
ビズモデル*型の無料の経営相談所である大垣ビジネスサポートセンター (ガキビズ) を拠点として、西美濃地域の中小企業及び個人事業者等の経営支援に努める。	●相談件数	
	現況値	2,037件 (R4)
	目標値	増加

* ビズモデル

自治体主導の中小企業相談所。マーケティングや販路拡大、プロモーションなど、各分野の専門家をスタッフに集めてワンストップで支援する。中小企業の売上を上げることに特化した相談所として運営されている。

施策2 互いの魅力を活かした人の流れの創生

1. 観光プロモーション事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>広域観光の推進施策として、国内及び海外における西美濃地域の知名度向上と観光客の更なる増加を図るため、効果的な広域観光施策を展開し、西美濃地域の一体的発展を目指す。首都圏で開催されるイベントにおいて岐阜県と連携したブースの出展、関西圏における特産品販売等の実施、西美濃を紹介するホームページの運営などに取り組む。</p>	●西美濃地域の観光客数	
2. ツール・ド・西美濃事業	現況値	982万人 (R4)
<p>西濃圏域を自転車で周回するサイクリングイベントを実行委員会形式で開催し、全国に情報発信することで西美濃地域の活性化を図る。</p>	目標値	1,480万人
3. 西濃圏域定住促進PR事業	重要業績評価指標 (KPI)	
<p>①西美濃地域定住促進PR事業 西濃圏域への広域移住・定住を促すパンフレットの作成やPR広告、ポータルサイト制作、相談会の開催を行う。</p> <p>②ビジネスマッチング促進支援事業 企業展示会等への出展を促すビジネスマッチング促進支援事業の実施に必要な経費の補助を行う。</p> <p>③就労支援広域連携事業 高等学校の就職希望者を対象とした企業視察や中途就職情報ポータルサイトに求人募集を掲載する西美濃地域の企業に対し、掲載料の助成を行う。</p>	●新規高等学校卒業者(西濃地域)の地元就職の割合(5カ年平均)	
	現況値	66.0% (H26～H30の平均)
	目標値	68.0% (R2～R6の平均)